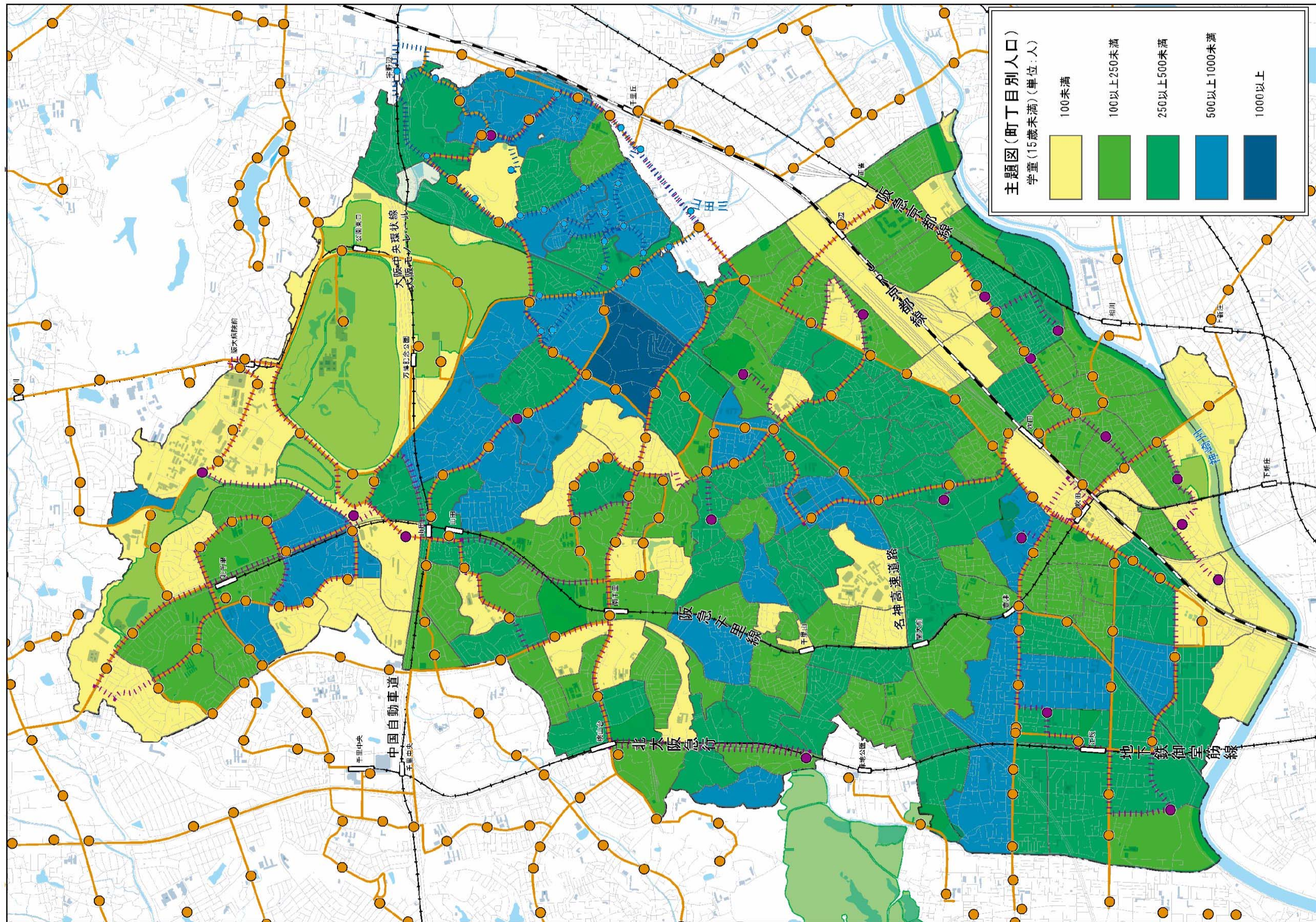


吹田市統計 住民基本台帳 H21.3.31 より

図 1-5 吹田市の町丁目別生産年齢人口(15歳~64歳)の分布



吹田市統計 住民基本台帳 H21.3.31 より

図 1-6 吹田市の町丁目別学童人口(15歳未満)の分布

c) 人口の予測

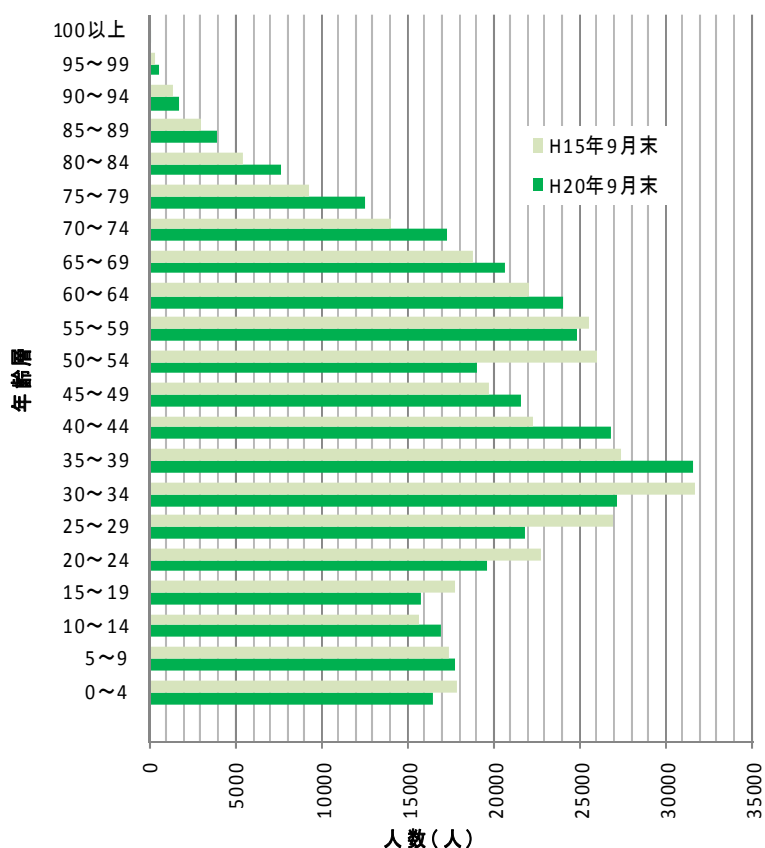
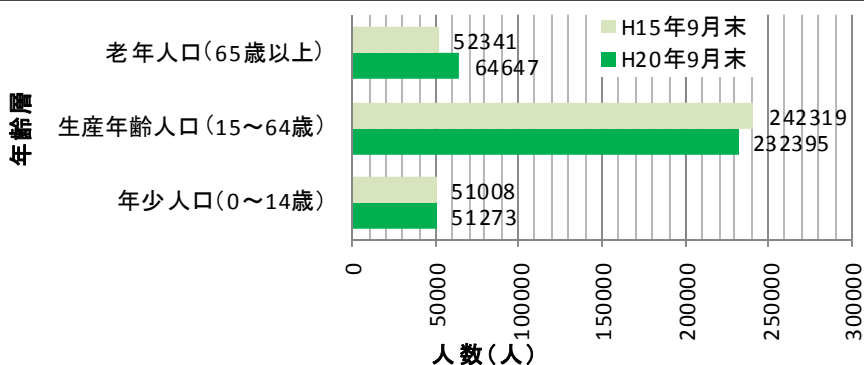
<現状までの人口動向>

平成 15 年度～20 年度の 5 年間の間に次のような人口構成が進んでいる。

- ・高齢者人口がわずか 5 年間で約 1.2 万人増加している。
- ・生産年齢人口が約 1 万人減少している。
- ・吹田市の将来人口は減少傾向にある。

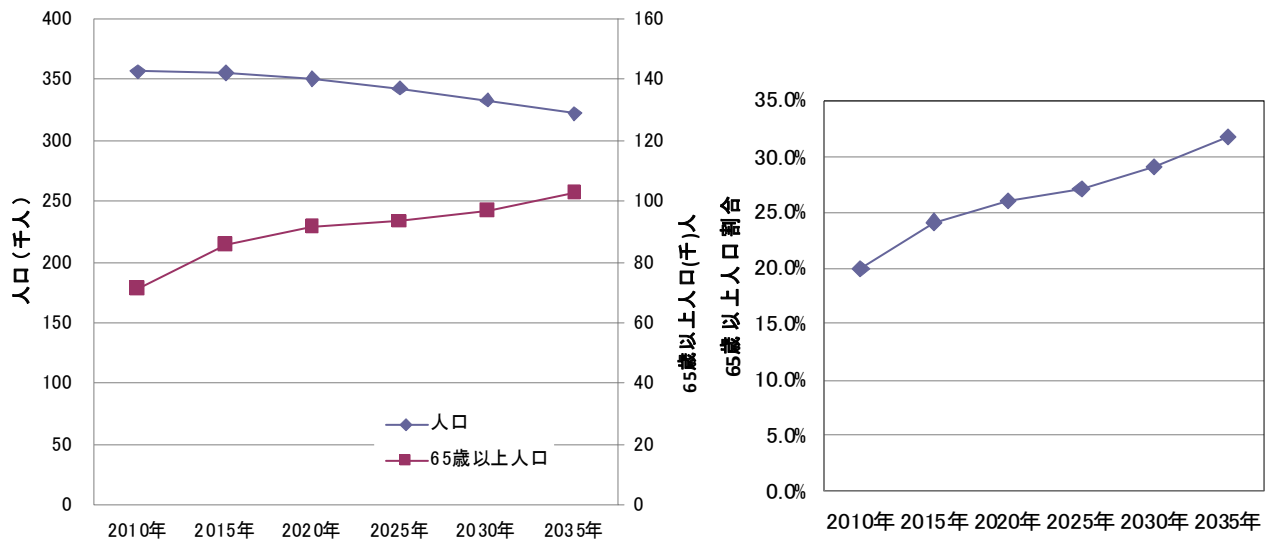
<将来の人口予測>

- ・65 歳以上の高齢者人口は、2010 年から 2035 年の 25 年間に約 30 千人増加する見込みである。
- ・また、高齢者人口割合は 2035 年には 30%を越え、2010 年の約 1.5 倍となる。
- ・学童人口は、2030 年には 2008 年の約 3 分の 2 になると推計される。



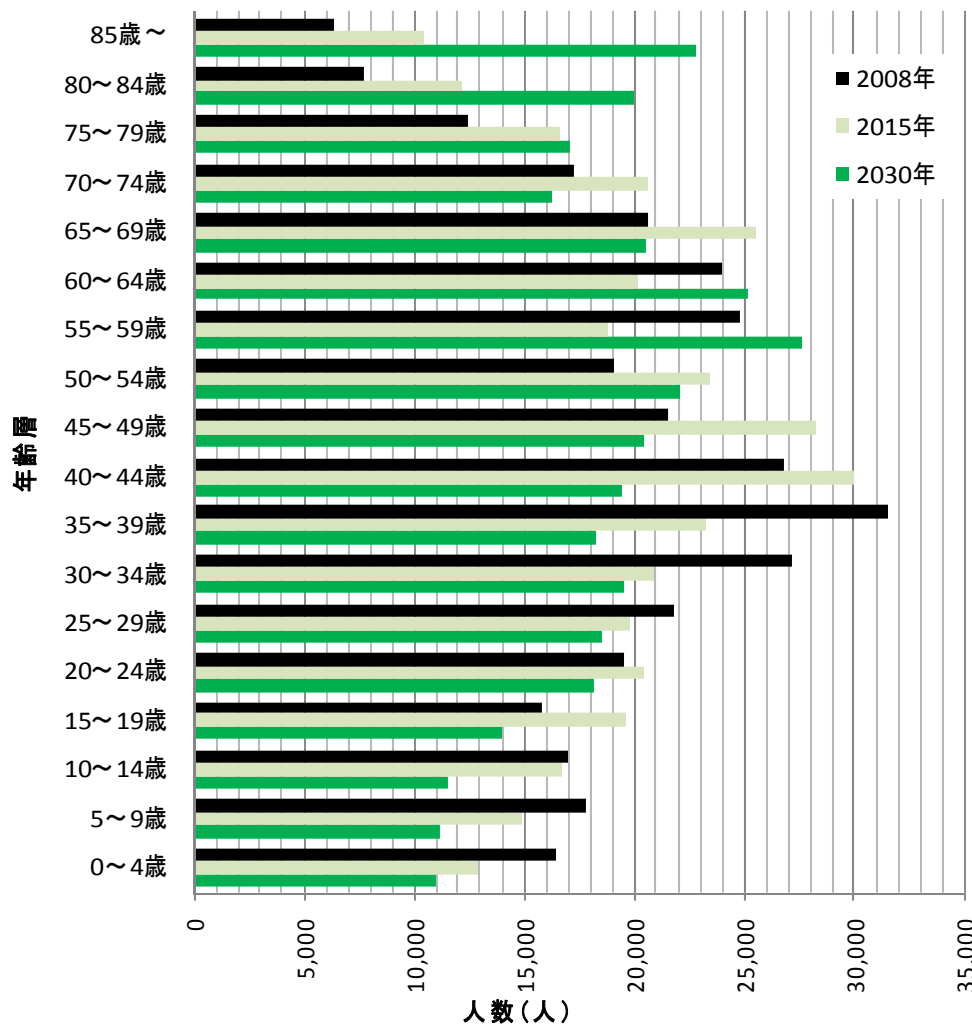
出典：吹田市統計書（平成 20 年版）住民基本台帳より

図 1-7 吹田市の人口ピラミッド



国立社会保障・人口問題研究所、人口推計結果より

図 1-8 将来の人口および 65 歳以上人口



国立社会保障・人口問題研究所、人口推計結果より

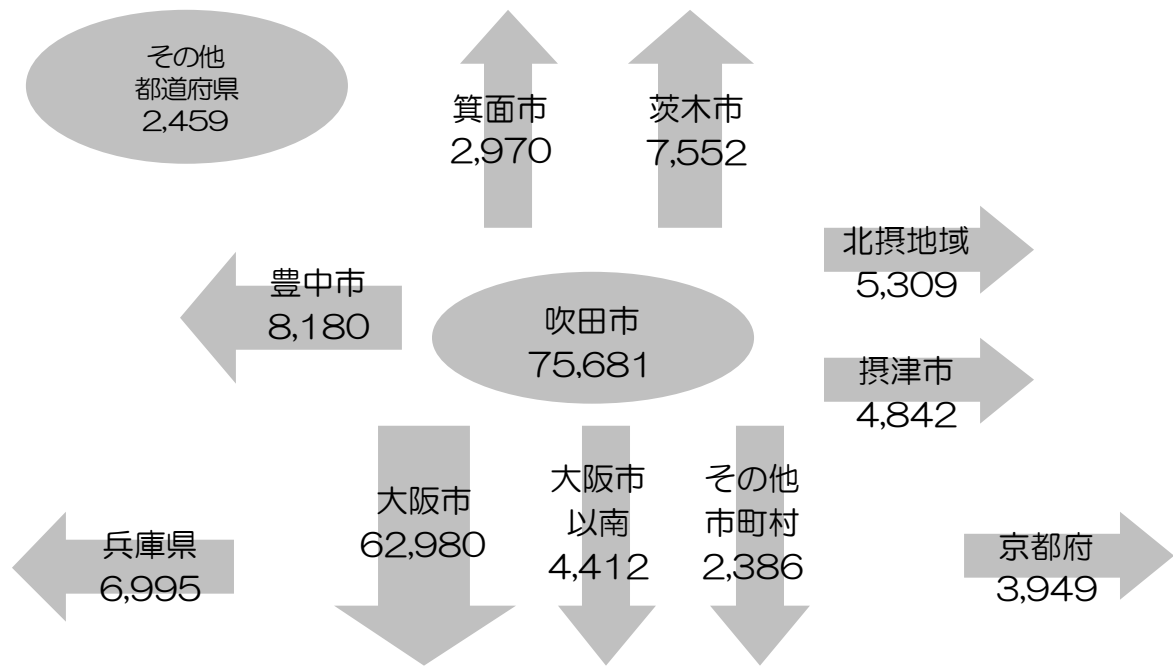
図 1-9 吹田市の将来人口ピラミッド

## (2) 交通の現況

### a) 人の動き

#### ■国勢調査から

- ・吹田市に常住する就業者・通学者の合計は 187,715 人である。
- ・うち、約 40%にあたる 75,681 人が吹田市で就業・通学している。
- ・大阪市へ就業・通学している人は 62,980 人と約 3 分の 1 にあたる。次いで、豊中市 8,180 人、茨木市 7,552 人が多い。



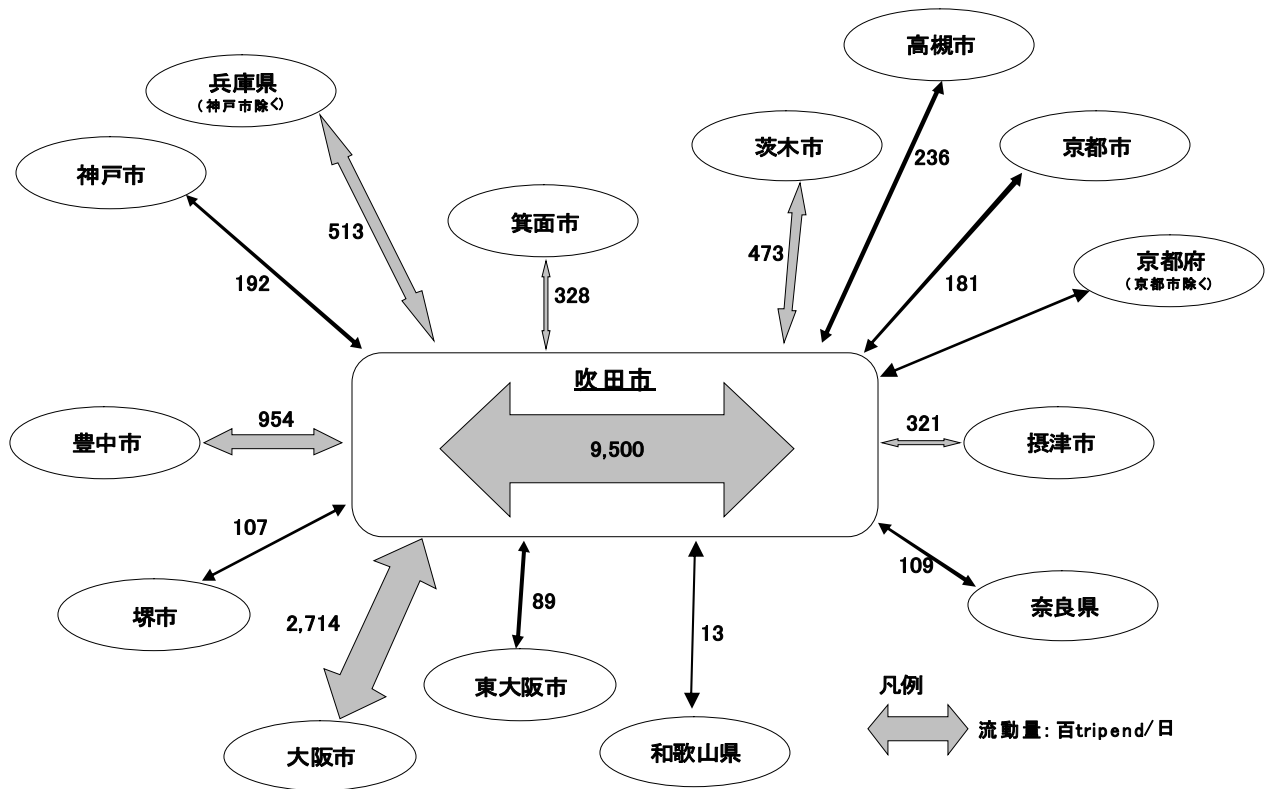
(人)

H17 国勢調査より

図 1-10 吹田市を中心とした人の流動（就業・通学）

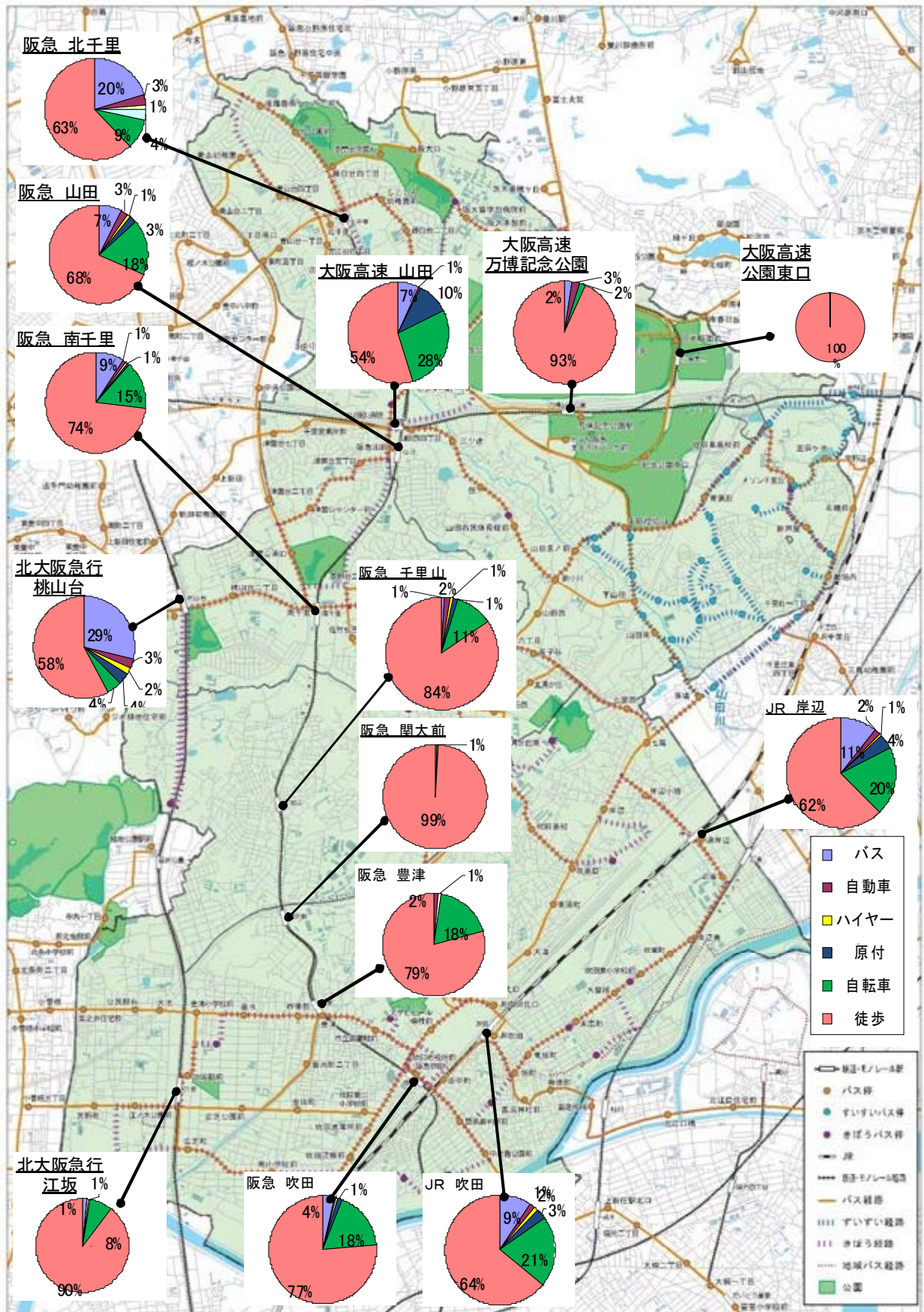
■パーソントリップ調査から

- ・吹田市を中心とした地域間の人の流動量を見ると、吹田市に発生集中する交通の約 60%に相当する 95 万トリップエンド/日は、吹田市内での移動となっている。また、周辺都市との人の動きは、大阪市が最も多く約 27 万トリップエンド/日、次いで豊中市、兵庫県（神戸市除く）、茨木市、箕面市、摂津市との間で多くなっている。
- ・鉄道駅の鉄道端末手段別トリップ数を見ると、すべての駅で徒歩が最も多くなっている。
- ・北千里駅、桃山台駅ではバスがそれぞれ 20%、30%と徒歩に次いで多い割合を占めている。
- ・JR吹田駅、JR岸辺駅、モノレール山田駅では、自転車の割合が 20%を越えている。



「京阪神都市圏パーソントリップ調査 (H12)」より

図 1-11 吹田市を中心とした地域間の人の流動量



「京阪神都市圏パーソントリップ調査 (H12)」より  
 図 1-12 鉄道駅端末手段別トリップ

## b) 公共交通状況

- ・吹田市は、JR東海道本線、地下鉄御堂筋線、北大阪急行電鉄、阪急千里線、阪急京都線、大阪モノレールの各軌道が整備されている。市内に14駅を有し、市域に隣接した駅もある。鉄軌道は大阪モノレールを除き南北移動が主であり、東西方向の移動に弱い。
- ・市内を運行する路線バスは3社（阪急バス、近鉄バス、京阪バス）あり、鉄軌道駅の主要駅と住宅地や主要施設を結んでいる。
- ・鉄道、路線バスの他、千里丘地域でコミュニティバス「すいすいバス」（試験運行中）、福祉バス「きぼう」などの地域バスも運行している。

### ■鉄軌道

吹田市内で最も乗降客数が多いのは、阪急電鉄である。

阪急電鉄、大阪モノレールは近年乗降客数が増加傾向にある。

JR西日本、北大阪急行電鉄は横ばい傾向である。

### ■路線バス

吹田市内で最も乗降車人員が多いのは、阪急バスである。

路線バスの乗降車人員は、平成16年以降減少傾向にある。

### ■コミュニティバス（すいすいバス）の利用状況

4月から8月にかけて利用者数が増加する傾向にあるが、8月をピークに減少する。

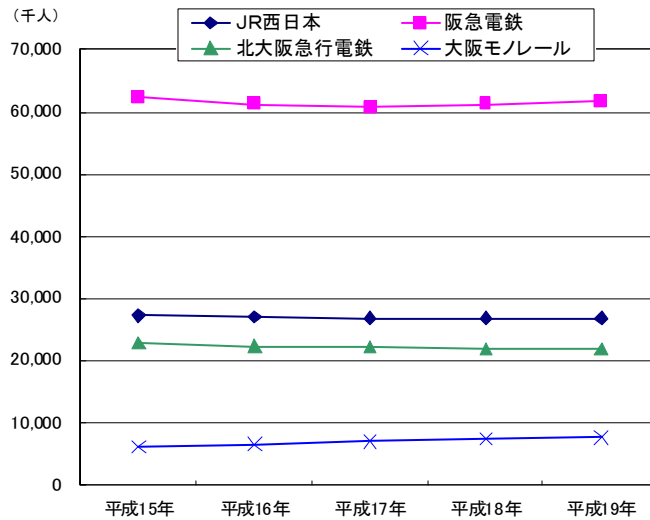
毎年利用人数が増加している。

### ■タクシー

主に主要駅を中心としてタクシーが待機している。

吹田市では、吹田市と契約しているタクシー会社に限り、重度の障害をもつ方がタクシーを利用される場合、小型車及び中型車の乗車運賃の初乗り分を助成している。

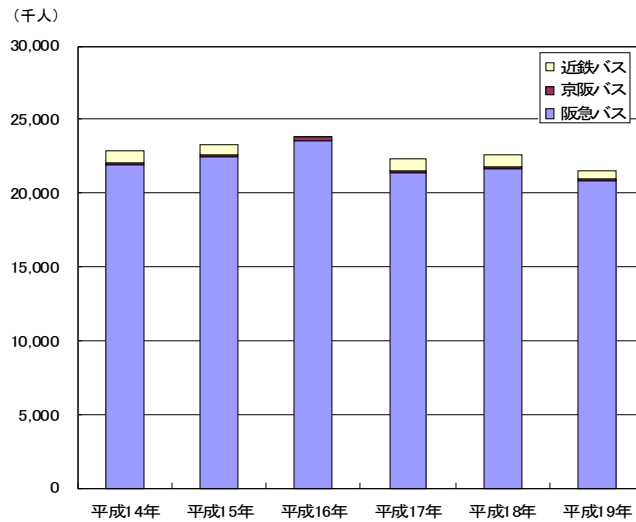




※北大阪急行電鉄に大阪市交通局1号線は含まない。  
 ※JR西日本の降客数は乗客数と同数とした。  
 ※JR西日本のみ年度の数値。

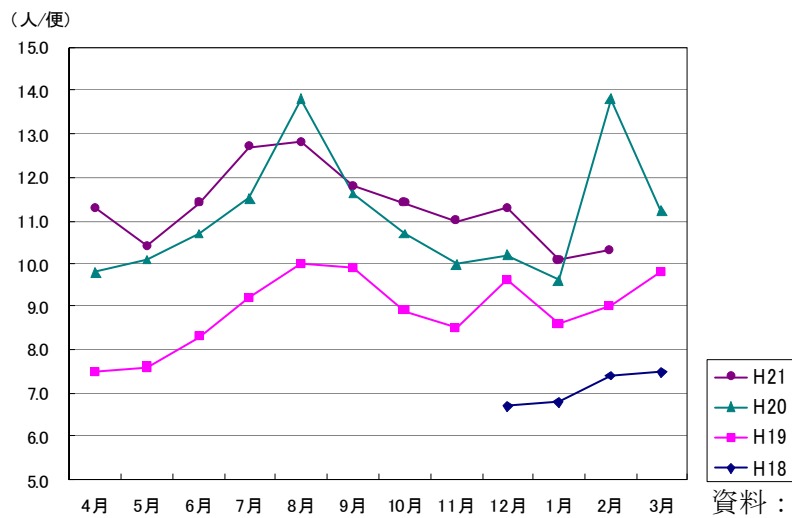
「平成20年版吹田市統計書」より

図 1-13 鉄軌道別年間乗降者数の推移



「平成15～20年版吹田市統計書」より

図 1-14 バスの年間乗降車人員の推移



資料：吹田市より

図 1-15 コミュニティバス1便あたり利用人数